

創立 60 周年を迎えまして

当社は、1948 年にエタノールを精製する蒸留塔（メチル塔）を開発してスタートして以来、熱的プロセスを伴う分離技術を中心に機器メーカーであり、またプラントエンジニアリング会社として、今日まで 60 年の永きにわたり幅広い分野で技術開発を遂行しながら成長して参りました。年齢では還暦でございますが、まだ若手のつもりであり、意気込みを失わないベンチャースピリットを維持した成長過程のつもりです。

これも偏にお客様から熱いご支援、ご理解を賜り、特に本音のご意見やご要望を頂戴し、技術的な難問までご教示いただいたご指導、ご鞭撻のお陰であり、心から感謝しております。

今回、60 周年を迎えました足跡を顧みますと、化学工学の草創期から成熟過程まで産業界の一員として色々と勉強や体験をさせていただきました。化学工学会（元 化学工学協会）に大変お世話になりましたことを本当にありがたく思っております。

コアとなるコンセプトや基本技術などは化学工学そのもののアイデンティティとして普遍であり不変でしょうが、21 世紀に入って世界経済、エネルギー・環境情勢の変動とともに化学工学は大きな変革期に入っています。

化学工学の体系も思想も大きく変動・躍動しており、大きく進化し・増殖されてきています。その躍動・躍進をリードしておられる著名な先生方がご自身で開発された、あるいは開発過程の新技术の内容やその熱き思いをできるだけ平易にお話いただければ、現在の化学工学の躍動する流れの中で、目的と目標を共有しながらみんなで連携して歩くことができるのではないかと思います、このような記念書を出版させていただきました。

大変多忙な先生方に貴重な時間を割いて、素晴らしい内容のご執筆をいただいたことに対して衷心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

この記念書は多様な読者の皆様を想定しており、興味を持って愉快地読んでいただけるように、先生方にはできるだけ平易な講話調でお書きいただいています。あらゆる立場の方々にとりましても化学工学の現在の躍進する姿を理解する上で本当に貴重なものとなると信じています。また、次世代を担う多数の若人の方々にも読んで興味を持っていただき、化学工学の将来を託したいと願っています。

したがいまして、この記念書が化学工学および化学工学会へのご恩返しにでもなれば望外の喜びです。

これからも世の中のため、社会や皆様のお役に立つべく技術開発に研鑽してまいります。

今までと相変わりがせず、ご指導ご鞭撻、ご支援ご厚情を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成 20 年 8 月 1 日

関西化学機械製作株式会社

代表取締役社長 野田 秀夫